

六日大分市宮崎書店において開催、会誌編輯方針を決定、八月十六日第二回常任委員会を開き、創刊号の編輯及び印刷所の決定を行った。

三、次号以下の原稿募集

(1) 年四回発行のため、原稿を常に手持ちしていなければなりませんので、何時でも齎つて御投稿下さい。次号は十二月中に発刊の予定です故、早目に御投稿下さい。四〇〇字、十五枚が原則ですが、時に若干の増加は已むを得ません。

(2) 論文は勿論ですが、資料紹介、歴史教育、質疑、郷土史話、会員だよりに肩のこらぬ短文を歓迎します。

(3) 費用の都合上、図版、写真版掲載御希望の方は、実費を負担願います。抜刷の場合も実費負担にて希望に応じます。

四、会員名簿 創刊号は頁数超過のため、次号に廻します。早急に整理を要しますので、多数の会員を御勧誘の上、会まで御連絡下さい。住所移転の場合も同様です。

五、会費納入について 会費未納の方は、至急振替其他にて御払い込み下さい。年

二五〇円です。創刊号送附後払い込みなければ、次号以下は御送本を見合わせる事になります。

発会式の際立川委員から御報告申しました通り、少額の会費では運営困難であるのを、岩崎県会議長の幹旋による寄附金で補填し、漸く創刊号の発刊を見た現状です。

六、郷土史関係新刊書 本誌新著紹介欄に紹介し、研究家相互に裨益する様に致し度く、是非共会員の方の著述は一部本会に御寄贈願いたく、又出版を御承知の方は会員外のものでも御周旋下さる様御願います。

七、秋季大会 費用の都合で開催せぬ事に致しました。

八、創刊号について 忌憚なき御意見を御聞かせ下さい。出来るだけ努力し皆様の御期待に添う様つとめたいと思えます。



編集後記

予想外に多数の原稿が集った事や、編集者の不馴れ印刷所の都合等で、発刊が一ヶ月以上も後れた事を御詫びします。荷一部分の方には折角の原稿を次号廻しとして頂かなくてはならぬ結果となつた事を遺憾に存じます。次号からは綿密な計画を立て、スムーズな運営をはかり度いと覚悟しています。それと共に御投稿を出来るだけ早くして頂く様重ねて御願います。燈火親しむべきの候書齋に実地に会員諸氏の一段の御活躍を期待します。(渡辺)

昭和廿九年十月廿三日 印刷
昭和廿九年十月廿五日 発行

(本号に限り) 頒價百三十円

大分県地方史研究会

編集兼 発行人 代表者 渡邊 澄夫

印刷人 高井 久雄

印刷所 大分市上野 三恵印刷株式会社

大分市歌原大分大学
学芸学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会
(振替口座下関五二四九番)